



日本分析化学会「学会功労賞」に、

齋藤 徹氏

心よりお喜びを申し上げますとともに、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。
ぶんせき誌8月号313ページもご覧ください。



2024 年度日本分析化学会 学会功労賞受賞者

業績: 研究業績 水系分離化学の設計と応用技術の開拓および分析化学教育への貢献

齋藤 徹 氏 (北見工業大学・教授)



特別寄稿

自分の頭で考えて行動



齋藤 徹

この度は 2024 年度日本分析化学会功労賞にご推薦くださり、ありがとうございました。北海道支部には出戻りですが、暖かく迎えていただき、心から感謝申し上げます。北海道支部で過ごした若き日々が私の糧になったと感じています。

さしたる才能もなく、努力が嫌いな私が9年前の北見工業大学着任時に掲げた目標が「時代を先導する人材の育成」でした。目標が決まれば、具体的な方法を考える番です。上手いかないときは、やり方を変える。それでも上手いかないときは、考え方を変える。「自分の頭で考えて行動」を研究室の空気としました。

先の年会の生涯学習懇談会で使用した図 2 枚(次頁)を紹介します。

研究テーマの提案、実験計画の立案と実施、研究成果の発信、研究全般を学生の主体性に任せました。賞状を見て研究内容を知ったこともあります。彼らの言葉を紹介します。「ほとんど失敗でした。」「私の研究は1日に 20 回失敗できます。」「研究で一番楽しいのは、何をするか考えているときです。」「彼らが研究を通して得た力は「新たな価値を産み出す力」「経営的戦略眼で業務を効率化する力」「以上を上手くやる力」であり、そのまま仕事に転用できます。いずれも私を遥かに凌駕しました。以上が受賞理由の後半です。わかったことは研究指導には様々な方法があるということです。勇気を持って指導方法を開拓してください。

(さいとう・とおる)



図. 齋藤先生ご提供。

■ 北海道分析化学各賞の受賞者決まる!

支部表彰規定に基づく選考の結果、2024 年度北海道分析化学各賞は下記の通り受賞者が決定しました。受賞者の皆様におかれましては心よりお慶び申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

北海道分析化学賞

藤井 良昭 君(北海道立衛生研究所食品科学部)

北海道分析化学功労賞

菅 正彦 君(北海道教育大学札幌校)

齋藤 徹 君(北見工業大学地域未来デザイン工学科)



授賞式&受賞講演会のお知らせ



期日 2025 年 2 月 21 日(金) 16:10～16:50

会場 北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟セミナー室

(札幌市北区北 15 条西 8 丁目)

授賞式 (16:10～16:20)

北海道分析化学賞 (北海道立衛生研究所食品科学部) 藤井 良昭 君

北海道分析化学功労賞 (北海道教育大学札幌校) 菅 正彦 君

北海道分析化学功労賞 (北見工業大学地域未来デザイン工学科) 齋藤 徹 君

受賞講演 (16:20～16:50)

「畜水産食品中の微量有害物質の分析」

藤井 良昭(北海道立衛生研究所食品科学部)



※ 「授賞式・受賞記念講演会」 事前申し込み不要(参加無料)

※ お問い合わせ先 北海道支部事務局 田中真理 (jsac-hb@w9.dion.ne.jp)

■ 日本分析化学会第74年会（札幌）に向けて

日本分析化学会第74年会 実行委員長

渡慶次 学（北海道大学）

来年の9月24日から26日にかけて、北海道大学にて第74年会が開催されます。また、同期間中に Asianalysis XVII(実行委員長:小澤岳昌先生(東京大学大学院理学系研究科))も同じく北海道大学で開催されることとなりました。これら二つの学会が同時開催されることにより、従来の年会運営以上に多くの業務が発生し、諸手続きや事務処理などが一層煩雑になることが予想されます。可能な限り支部会員の皆さまのご負担を軽減できるよう努めてまいります。両学会を成功させるためには、皆さまのご理解とご協力が不可欠です。何卒ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

第74年会については、11月8日に開催された第2回幹事会において、実行委員の役割分担(案)が提出され、承認されました。ただし、幹事会にご欠席された幹事の中には、諸事情により実行委員の役割をお引き受けいただけない方もいらっしゃるかもしれません。そのため、引き続き調整が必要になることが見込まれます。

皆さまにはお手数をおかけしますが、ぜひともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、幹事以外の会員の皆さまにも、様々なご協力をお願いする場面があるかと思います。第74年会を成功に導くために、どうかご理解とご支援をお願い申し上げます。

Asianalysis に関しては、私に加え、真栄城正寿先生(北大院工)、龍崎奏先生(北大院工)が Organizing Committee のメンバーとして参画しており、これまでに数回の実行委員会を開催し、準備を進めております。支部会員の皆さまには、今後決定した事項などを随時共有させていただきますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

支部会員の皆さまには、様々な面でご負担をおかけすることになるかと思いますが、第74年会および Asianalysis を成功に導くために全力を尽くしてまいります。皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

(とけし・まなぶ)

これからの行事予定



第 60 回 氷雪セミナー

日本分析化学会北海道支部主催の第 60 回氷雪セミナーを以下の通りに開催致します。

このたび、第 60 回氷雪セミナーを以下の要領で開催する運びとなりました。本セミナーでは、各分野でご活躍中の 3 名の講師をお招きし、ご講演いただきます。Zoom 形式を活用することで、リラックスした雰囲気の中でじっくりと講演をお聞きいただけるとともに、講師の先生方や参加者同士で活発な意見交換やディスカッションができる場となることを目指しております。参加費は無料で、どなたでもご参加いただけます。ぜひお気軽にご参加ください！

開催概要

【日時】 2025 年 1 月 12 日(日) 13:30～15:30

【形式】 オンライン(Zoom)

【参加費】 無料

【プログラム】

1. 田中久暁 先生(公立千歳科学技術大学准教授)

「有機トランジスタにおけるキャリアの電子スピン共鳴観測－電子状態と電荷輸送の微視的解明」

2. 甲野裕之 先生(苫小牧工業高等専門学校教授)

「キチンオリゴ糖が作る新規なキチンナノファイバーの話」

3. 赤澤敏之 先生(北海道立総合研究機構産業技術環境研究本部 工業試験場 道総研フェロー)

「総合知による生体模倣バイオマテリアルの創成と臨床展望」

(公立千歳科学技術大学・木村・須田廣美)

化学系学協会北海道支部 2025 年冬季研究発表会

石油学会・日本分析化学会・日本化学会・触媒学会・電気化学会・表面技術協会の各北海道支部共催の化学系学協会北海道支部 2025 年冬季研究発表会が下記の通り開催されます。多くのご参加をお願い申し上げます。

会期: 2025 年 1 月 21 日(火)・22 日(水)

会場: 北海道大学学術交流会館(札幌市北区北 8 条西 5 丁目)

特別講演: 桑田直明 先生(物質・材料研究機構) 演題未定

参加登録費:

早期登録(2025 年 1 月 9 日(木)までにウェブ登録・振込分):

一般(共催学協会会員) 3,000 円/一般(非会員) 6,000 円

学生(発表) 1,000 円/学生(聴講のみ) 無料

通常登録(ウェブ登録し[当日受付でも登録できます]2025年1月10日(金)以降2025年1月19日(日)までに振込むか当日現金支払):

一般(共催学協会会員) 5,000 円/一般(非会員) 8,000 円

学生(発表) 3,000 円/学生(聴講のみ) 無料

(クロスオーバークーポン[COC]を利用すると参加登録費が 500 円割引されます)

懇親会:

2025 年 1 月 21 日(火)18:30(予定)

彩屋札幌店(札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 アスティ 45 B1)、参加費 5,000 円

人数制限を設ける場合があるので、早めにお申し込みください。

今後のスケジュール:

講演申し込み: 〆切済み(2024 年 11 月 15 日(金))

口頭発表 62 件・ポスター発表 61 件

要旨原稿受付: 2024 年 12 月 9 日(月)~2025 年 1 月 9 日(木)

参加/懇親会早期登録: 2024 年 12 月 9 日(月)~2025 年 1 月 9 日(木)

プログラム公開: 2024 年 12 月 11 日(水)(予定)

その他、登録や振込、発表形式などの詳細はウェブシステムをご覧ください。

連絡先: 実行委員会委員長 青木芳尚(北海道大学)

電子メール: toukiken@touche-np.org

ウェブシステム: <https://touche-np.org/toukiken>

(北海道大学大学院地球環境科学研究院・山田幸司)

これまでの終了行事報告



2024 年 夏季研究発表会 (詳報)

日本化学会北海道支部主催、日本分析化学会北海道支部ほか 6 学協会支部の共催で、日本化学会北海道支部 2024 年夏季研究発表会が、7 月 20 日(土)に北見工業大学において開催されました。

今回の夏季研究発表会では、107 名(一般会員 43 名、一般非会員 3 名、学生会員 35 名、非会員学生 26 名)の参加がありました。一般講演としては 74 件の口頭発表があり、各会場では討論が活発に行



われました。なお、分野別の発表件数は無機化学 12 件、分析化学 4 件、有機化学 25 件、物理化学 12 件、高分子 11 件、触媒 4 件、その他 4 件の合計 74 件でした。

特別講演としては、「望遠鏡にメガネをかける話ー太陽観測用補償光学系の開発ー」と題して三浦則明先生(北見工業大学教授)より御講演いただきました。

また、丸岡 啓二 先生(日本化学会会長・京都大学大学院薬学研究科特任教授)より「不斉有機分子触媒を用いる嵩高いアミノ酸、ペプチド類の高効率合成」と題して記念講演をいただきました。どちらも大勢の参加者があり、盛況のうちに終えることができました。



研究発表会終了後には、味覚園北見銀座店に会場を移し、懇親会が行われました。懇親会は大いに盛り上がり、参加者の皆さんは焼き肉の街での飲食を楽しみながら親睦を深めることができました。

次年度は苫小牧にて開催される予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(北見工業大学・宇都正幸)

2024 年 公開セミナー

2024 年 12 月 3 日火曜日の 13:05～旭川工業高等専門学校 階段教室において、「空間選択性の無機ナノ材料化学が生み出す新機能材料・デバイステクノロジー」というテーマで公開セミナーを開催しました。

今年度の公開セミナーは旭川高専で実施されました。講師として長島 一樹 先生(北海道大学 電子科学研究所 教授)をお迎えし、無機ナノ材料化学に基づく新機能材料やデバイステクノロジーに関する最新の研究成果についてご講演いただきました。講演には旭川高専物質化学工学科 2, 3, 5 年生および専攻科生を中心に 100 名以上の学生が参加し、長島先生の豊富な研究成果と巧みなプレゼンテーションに熱心に耳を傾けていました。特に参加学生にとっては、無機材料の創製と応用、機械学習を活用したケモセンサなど、現在学んでいる無機化学、分析化学や数理データサイエンスの応用について知ることができ、大変有意義な講演となりました。わかり

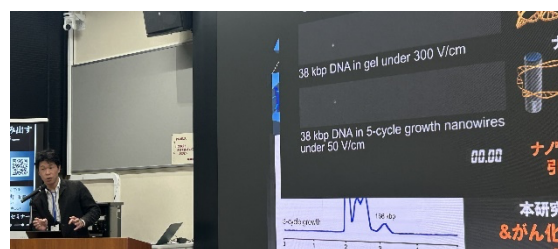
やすく丁寧なご説明をして頂いたことから、学生も講演内容を十分に理解することができ、分析化学の重要性を再認識すると共に、分析化学及び関連分野への興味関心が高まったようです。



ご講演後半の一部には、本校 OG で、長島研究室助教の岡 紗雪 先生からも御講話

頂きました。現在の研究内容に加え、後輩学生へのメッセージなどについてもお話し頂き、参加学生は今後の進路や自身のキャリアについて考える良い機会となったようです。

なお、質疑応答では学生からの活発な質問もあり、本セミナーは盛会のうちに終了しました。講演会後は意見交換会を実施し、講演会では紹介しきれなかった様々な研究成果をご紹介頂き、参加者同士の交流を深めることができました。



本公開セミナーは、参加した本校学生にとって最先端の研究成果を垣間見る大変貴重な機会となりました。本事業の実施に当たり、ご支援いただきました坂入支部長始め関係各位に心から感謝申し上げます。

(旭川工業高等専門学校・堺井亮介)

2024 年 北海道地区化学教育研究協議会

第 66 回北海道地区化学教育研究協議会が 2024 年 11 月 9 日、日本化学会北海道支部、日本分析化学会北海道支部、日本化学会教育・普及部門の主催で対面とオンラインのハイブリッド方式により開催され、小中高大学の教員、大学生ら計 53 名が参加しました。

対面の会場となった北海道教育大学札幌駅前サテライトでは、同協議会会長の村田一平先生(北海道羽幌高等学校)の開会挨拶により午前の部がスタートしました。最初のプログラムとして、真井克子先生(文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター(併 文部科学省初等中等教育局))により「これからの理科教育を考える ―資質・能力の育成を目指して―」と題する特別講演が行われました。新学習要領における特に理科の改定のポイントや授業の改善などについて統計データを用いながら詳細にご説明頂きました。その後、日本分析化学会北海道支部長の坂入正敏先生(北海道大学大学院工学研究院)による挨拶で午前の部が終了しました。

午後からは、小学校から大学の教員による提言として各校での実践内容の報告が行われました。渡邊和宏先生(石狩市立南線小学校)から「石狩管内教育研究会の取組」、宍戸広太先生(旭川市立広陵中学校)から「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組

む態度における、A 基準の設定に関する一考」、川口詩織先生(北海道札幌南高等学校)から「化学の授業における高大連携の試み」、谷 博文先生(北海道大学)から「化学における分析化学の位置けと大学の教育」と題する提言がありました。その後、高橋さおり先生(北海道札幌英藍高等学校)の司会による自由討論が行われ、特別講演と各提言、特に今後の理科教育や評価に関する内容に関してさらなる意見交換が行われました。最後に日本化学会北海道支部長の上野貢生先生(北海道大学)の挨拶で閉会となりました。そのあと別会場で行われた懇親会の席でも活発に意見交換が行われました。

今回、同協議会は、坂入正敏新議長による体制のもと開催されましたが、参加者からも活発な意見提供があり、道内化学教育関係者の化学教育への熱意は健在であることを実感する会となりました。

(北海道大学大学院工学研究院・石田晃彦)

支部会員の欄

この欄では分析化学会北海道支部の転入や転出、新入会など会員に関する情報をお伝えします。次の方々の入会が理事会で認められたほか、転入及び退会の情報をお寄せいただきました。会員に関する情報をお持ちの方は、支部ニュース編集委員までお知らせください。

【新入会のみなさん】 ○学生会員 5 名 (入会順・敬称略)

○島川 幸子 (北海道大学大学院環境科学院)

○永瀬 望 (北海道大学大学院総合化学院)

○木下 博貴 (北海道大学大学院環境科学院)

○斉藤 潤 (北海道大学総合化学院)

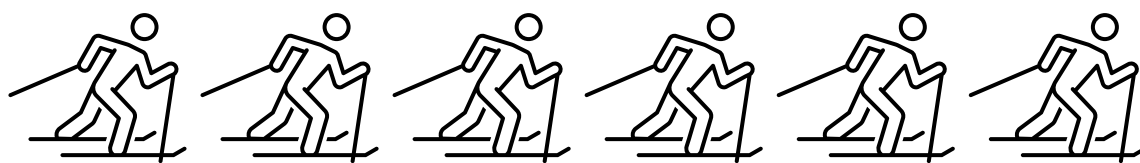
○前田 渉希 (北海道大学大学院環境科学院)

編集後記

支部ニュース第 70 号をお届けいたします。この度、ご多忙の中、ご寄稿頂きました執筆者の皆様、この場を借りまして厚くお礼申し上げます。渡慶次実行委員長のご寄稿にもありましたように、来年度は北海道支部を中心とする実行委員会により日本分析化学会年会が北海道大学で開催されます。学会の学術的成功のみならず、全国から集まる年会参加者に北海道グルメを大いに堪能していただくことも大切かと思えます。準備・運営等もある中ではございますが、札幌の美味しい店をたくさん紹介す

るための下見という名目で、食事処巡りをしてみてはいかがでしょうか。おいしいものをたくさん食べて、元気にこの冬を乗り越えましょう。北海道支部の活動がますます活発になりますよう、今後とも支部ニュースへのご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。来年度の支部ニュース編集は、青柳直樹(北海道立衛生研究所、留任)と、大塚侑(北海道立衛生研究所、新任)との二人体制で行う予定です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(編集委員: 中屋佑紀、青柳直樹)



公益社団法人 日本分析化学会北海道支部事務局

札幌市北区北 13 条西 8 丁目 1

北海道大学大学院工学研究院内 支部長 坂入正敏

TEL 011-706-7111

E-mail jsac-hb@w9.dion.ne.jp

URL <http://www.jsac.or.jp/~hokkaido/index.html>

北海道支部ニュース 第70号

編集・発行

公益社団法人

日本分析化学会北海道支部

発行日

2024 年 12 月 16 日